

## CMI 報告

## 施工技術総合研究所 創立 50 周年記念報告

## 第 1 部 施工技術総合研究所のあゆみ

## ご挨拶

## 自らの頭で考え、自らの足で調査し、自らの手で試験する

見波 潔

施工技術総合研究所は昭和 39 年 10 月に静岡県吉原市（現在の富士市）に社団法人日本建設機械化協会の附属機関「建設機械化研究所」として創立され、昨年創立 50 周年という節目を迎えました。

表題の言葉は、研究所が創立されたときから実践してきた、会社でいえば「社訓」ともいうべきもので、研究所の伝統となっています。

関係機関や企業などからの委託を受け、土木・機械・地質・資源・電気などの分野について多岐にわたる研究・調査・試験を行っていますが、この伝統を受け継いできたが故に、所員は高い専門性と技術力を身に付けてきました。

技術は人に宿ります。施工総研は所員が“資源”であり、“力の源泉”だと考えています。

加えて、広大な試験研究用地と各種の試験設備を有しており、「建設機械と機械化施工に関するわが国唯一の総合試験研究機関」としての役割を果たしてきました。

施工総研は、行政機関や民間企業の研究所ではなく、また、大学のような研究機関でもありません。決して大きな組織とは言えませんが、人材と施設という二大資源を活かし、独自性と専門性を発揮しつつ、わが国の施工技術の進展に寄与していきたいと考えています。

この 50 年の間に施工技術を取り巻く状況も大きく

変化してきました。これからの 50 年もさらに大きな変化が待ち受けていると思いますが、これに立ち向かうべく、所員一同さらに研鑽を積んでいく所存です。

昨年 11 月 26 日、「建設施工と建設機械シンポジウム」の中で「施工総研創立 50 周年記念セッション」を設け、第 1 部で施工総研の歩みを振り返るとともに、第 2 部では 4 名の学識経験者をお招きして「施工技術のこれから 一次の 50 年への提言」と題するパネルディスカッションを行いました。以下の記事は、その概要をとりまとめたものです。これらの内容は、施工総研の今後の活動の指針とさせていただくとともに、併せて読者の皆様の参考にしていただければ幸いです。

50 年にわたり施工総研を育てていただいた関係機関の皆様、日本建設機械施工協会の関係者の皆様、施工総研に在籍された諸先輩の皆様に深く感謝申し上げますとともに、今後ともご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

JICMA

## 【筆者紹介】

見波 潔（みなみ きよし）  
（一社）日本建設機械施工協会  
施工技術総合研究所  
所長

